

---

# 深淵に降りた、予言破壊者《スコアブレイカー》

ビックボスと言ってくれ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

深淵に降りた、スコアプレイヤー 予言破壊者

### 【Nコード】

N8595Y

### 【作者名】

ビックボスと言ってくれ

### 【あらすじ】

ローレライの力によって異世界から来た少年『吉井明久』  
彼の持つ力で、原作は大きく変わっていく・・・

## プロローグ（前書き）

バカテスとアビスのコラボが

はっじまるよー

## プロローグ

「僕に何の用ですかクソババア」

『入っていきなりひどい言いようさねっ!?!?』

現在僕こと吉井明久は、学園長……もとい、妖怪ババアに呼ばれて夜遅くの学校に居るのだが……

「一体、こんな時間に何の用ですか。家に帰って、勉強しないといけない」『そう言つて、どうせゲームでもするんだろっ』……。

言い返せない自分が憎い。

『それよりも話しつさね』

「つまらない事だったら帰りますよ?」

現在、夜の8時を回っている。さすがに遅すぎる呼び出しだ

『ハア……、全く話を聞かないガキだね。協力すれば報酬だつて出すつてのに』

「それは何ですか?」

『学食1週間無料になるチケット「是非とも協力させていただきませう!」……まあいいさね』

学食が無料になるのは、ありがたい。ここ最近、塩と水の生活にな  
っていたし

「それで僕は何をすればいいんですか？」

そう言うのと、ババアが口元を緩める・・・なにやら嫌な予感が

『簡単さ、ただ単に試験召喚するだけっさね』

やはりそう来たか

「また不具合でも見つかったんですか？」

『違うね、今回はまったく別な事さ』

嫌な予感がさつきからするけど、食事の為だ

「分かりましたよ。それじゃ、サモン《試験召喚》！」

ボンという煙とともに出てきたのは、いつもの僕の召喚獣・・・じ  
やない？

「ババア、これは一体どういうことですか？」

僕の前に現れたのは、およそ2mはあるであろう変な形をした日本  
刀のようなものだった

刃の色は黒で、刀身には、変な文字が書かれていた

『今回のこれは、名付けて《武器召喚<sup>ウェボンサモン</sup>》さ』

「ウェボンサモン？」

『その名の通り、召喚獣の代わりに武器を出す召喚だよ』

「何で武器何かを？」

『召喚獣だけじゃ、体も動かせないだろうと思ってね。それだったら、スポーツ感覚で楽しめるだろう』

確かにそうだけでも危険なんじゃ・・・

『多分あんたは危険だっと思っていてもかもしれないけど、そこんところは点数だけ引かれるシステムになっているだけさね』

なら安心だ

『さてと・・・もう十分サンプルも取れたことだし、終わるとするさね』

ババアがフィールドを消そうとしたその時だった

《我が声に応えよ、異世界の者よ》

頭にそんな声が聞こえてきたのと同時に、目の前にある剣が眩く光り、僕を包み込んだ。

こうして明久は、この世界から・・・消えた

## プロローグ（後書き）

今回、初のバカテス×テイルズSSを書きました。

温かい目でどうか見てください

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8595y/>

---

深淵に降りた、予言破壊者《スコアプレイヤー》

2011年11月25日20時54分発行